

平成 26 年度保護管理レポート案について

構成

1. はじめに

- 保護管理レポートは特定計画策定のためのガイドラインを補足するためのもの

2. 2014（平成 26）年度のイノシシの保護管理をめぐる動き

- 鳥獣法の改正に伴い、特定鳥獣保護管理計画が 1 種（保護）と 2 種（管理）に分かれる
- 指定管理鳥獣指定
指定管理鳥獣に指定されることにより、指定管理鳥獣捕獲等事業が実施可能になる（特例の内容等）
- 新潟県が 2014（平成 26）年 3 月に特定計画を策定

3. 今年度のレポートのテーマ

- 分布拡大時の初期対応

4. 分布拡大状況

- 分布拡大の種類と種類毎の特性

5. 分布拡大に伴う課題

- 侵入初期における状況把握の困難さ
- 被害意識の遅れ
- 適切な被害防除方法と捕獲方法の知識の不足

6. 積雪地域、半島部、島嶼における分布拡大時の被害防除に関する初期対応

- 分布情報の把握方法
- 被害防除方法の普及
- 捕獲方法の普及
- 行政間の役割分担

7. 分布拡大を抑制する上での今後の課題

- 予防的な被害防除の困難さ
- 低密度状態における捕獲方法の未確立

8. 分布拡大地域における過去の経緯と取り組み事例

- 富山県
- 長崎県
- (千葉県)

9. 市街地出没における課題整理、解決策検討のための手段

- ・ 住民に周知すべき内容
 - 市街地出没の原因と予防
 - 市街地出没が発生した場合の対応方法（その場の対処と連絡方法）
- ・ 住民に周知する方法
 - ホームページ、パンフレット等の特性と使い分け
- ・ 対応する関係行政機関等に周知すべき内容
 - 市街地出没が発生した（報告された）場合の連絡体制と役割分担、対策